

乳幼児期の自然体験の実態調査と、 認定こども園等でのモデル事業実施

活動地域  静岡県



モデル事業のための下見

課題

乳幼児期の子どもが人生のベースを築き、主体的に様々な学びを得るためには自然の中での体験が必要だと考えるが、自然にふれる機会が激減していることが課題である。

目標

子どもの自然体験が増え、大人も行動変容の機会が増えることで、自然に目を向け、環境に配慮することや、持続可能な社会づくりを意識して行動できる人が静岡市に増える。



今後の展望

実態調査やモデル事業実施など、3年間の成果を発信していくことで理解者や協力者を増やし、静岡市内の0～5歳児3,000人(人口の5%)以上が自然度の高い場所での遊びを体験できる体制を整えたい。

ひろげる助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

- 静岡市内の認定こども園・保育園・小規模保育施設にて、保育者と保護者を対象に自然体験についてのアンケート調査やヒアリング調査を実施した。調査にあたっては、専門家とともに調査項目を策定し、自然体験の実態と、乳幼児期の子どもが置かれている現状について考察することができた
- モデル事業実施に向けて、フィールドと移動手段についての課題を、保育園の先生や関係者と検討することができた。また、モデル事業の説明チラシを作成し配布することができた
- 実態調査についてウェブにて情報発信することができた



幼稚園でのヒアリング調査

こども園等からの
アンケート回収率 **43%**

保育者と保護者への
ヒアリング調査 **20人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **30%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

各園へ電話で調査の依頼をしたが、承諾を得るのは難しかった。新型コロナウイルスの影響でモデル事業実施ができなかった。

■ 工夫した点

公立の園は静岡市役所へ、静岡市清水区の私立の園は幼稚園協会へ、アンケート調査依頼の協力をお願いすることができた。

〒422-8002
静岡県静岡市駿河区谷田1170-2
電話：054-263-2866
E-mail：works@ecoedu.or.jp
HP：http://www.ecoedu.or.jp/

